

別紙1

令和8年度北日本養鶏研究大会
鶏病研究会北海道・東北地区技術研修会開催要領

- 1 目的
北海道・東北地域の生産者・業界関係者並びに鶏病研究会等の関係者が一堂に会し、国際化時代に対応した養鶏経営の安定的発展と衛生対策を基本とした飼養管理技術の研鑽を積むとともに相互の交流を図る。
- 2 開催期日 令和8年8月25日(火)～26日(水)
- 3 開催場所 「ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING」
盛岡市盛岡駅前北通2番27号(TEL:019-625-1211)
- 4 主催 日本養鶏協会北日本地域協議会
北日本養鶏研究大会・鶏病研究会北海道・東北地区技術研修会
実行委員会(岩手県養鶏協会、岩手県鶏病研究会)
- 5 後援 岩手県、盛岡市、(一社)日本養鶏協会、鶏病研究会
全国農業協同組合連合会岩手県本部、(一社)岩手県畜産協会
(一社)岩手県獣医師会、岩手県チキン協同組合
(一社)岩手県配合飼料価格安定基金協会
岩手県動物薬品器材協会
- 6 北日本養鶏研究大会(8月25日13:30～17:00)
 - (1) 開会の言葉 岩手県養鶏協会 会長 中村 徹
 - (2) 主催者挨拶 日本養鶏協会北日本地域協議会 会長 佐々木 健
(青森県養鶏協会会長)
 - (3) 来賓祝辞
 - (4) 来賓紹介
 - (5) 記念講演14:00
講演① 「みチャオ!きいチャオ!IBC!～放送ここだけの話～」
講師 (株)IBC岩手放送 アナウンス部 神山 浩樹 様
講演② 「卵業界に必要な“伝える力”」
講師 五ツ星タマリエ (株)半澤鶏卵 半澤 清哉 様
 - (6) 大会宣言
 - (7) 次期開催県挨拶 福島県養鶏協会
 - (8) 閉会の言葉 岩手県養鶏協会 副会長 松林 治16:50
- 7 交流パーティ(17:40～19:30)
- 8 鶏病研究会北海道・東北地区技術研修会(8月26日9:30～15:00)
 - (1) 開会
 - (2) 主催者挨拶 鶏病研究会岩手県支部 支部長 御領 政信
 - (3) 来賓祝辞
 - (4) 来賓紹介
 - (5) 助言者・座長紹介
 - (6) 研究発表 6題(北海道3題・岩手県3題)10:00
 - (7) 特別講演13:00
演題 「養鶏場のバイオセキュリティ強化とマイクロMIX法」
講師 鶏病研究会副理事長(東京農工大学名誉教授)竹原 一明 様
 - (8) 講評及び審査結果発表
 - (9) 閉会15:00
- 9 参集範囲
北海道・東北地域養鶏経営者及び関係者
鶏病研究会会員・業界関係者並びに関係機関団体等

令和8年度 鶏病研究会北海道・東北地区技術研修会

令和8年8月26日(水)9:30~15:00

場所 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING 盛岡市盛岡駅前北通2番27号

発表演題 10:00~11:50

- 1 演 題 「養鶏場密集地域における高病原性鳥インフルエンザ連続発生要因の検証」
発表者 岩手県中央家畜保健衛生所 高井 雄也
- 2 演 題 「鶏アデノウイルス E による鶏封入体肝炎の発生」
発表者 北海道胆振家畜保健衛生所 藤井 誠一
- 3 演 題 「農場における薬剤耐性菌の現状」
発表者 (株)あべはんファーム 赤坂 成悟
- 4 演 題 「県内食用鶏における *Salmonella spp.* 保有状況及び薬剤耐性調査」
発表者 (一社) 岩手県獣医師会食鳥検査センター 金子 和華子
- 5 演 題 「北海道内で初めて発生した肉用鶏における *Enterococcus cecorum* 感染症の概要」
発表者 北海道胆振家畜保健衛生所 藤井 誠一
- 6 演 題 「国内で初めて確認されたあひるのロイコチトゾーン症」
発表者 北海道石狩家畜保健衛生所 大河原 彩子

特別講演

演 題 「養鶏場のバイオセキュリティ強化とマイクロ MIX 法」
講 師 鶏病研究会副理事長 東京農工大学名誉教授 竹原 一明 氏

研修会は参加無料、事前申込をお願いいたします。申込期限 7 月 16 日(木)

e-mail iwate-youkei@echna.ne.jp

fax 019-654-7050

所 属	職	氏 名